

令和2年度

学生によるオレンジリボン運動

大正大学 実施報告書



実施主体 大正大学ソーシャルワーク演習Ⅲを受講する2年生

実施内容 オリジナルポスター・漫画、Twitter 等を用いた啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・「児童福祉論」などの児童福祉に関する授業を通して、子どもに関する支援制度や児童虐待の現状把握に努めました。
- ・ソーシャルワーク演習の授業において、児童虐待の種類や現状、オレンジリボン運動の定義や活動の起源、活動の方法や種類、内容を調べ、大学の団体として行うことのできる啓発活動や学生に求められる役割について学び、活発なディスカッションを行いました。
- ・先輩達から昨年度のオレンジリボン運動の活動内容を見聞きしました。
- ・コロナ禍において対面での啓発活動の実施が困難であることを踏まえたうえで、学生が行うことができる活動について話し合いました。昨年度を参考にしたポスターやパンフレット、啓発漫画をはじめ、オレンジリボン運動に関する社会福祉学科公式の Twitter アカウントの開設と Twitter での啓発、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上でのオレンジリボンの作成などの意見が出され、それらの意見を基に活動方針を定めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

①継続して行ったこと

- ・オリジナル啓発ポスターとパンフレットの作成
- ・オレンジリボンの制作
- ・オリジナルポスターを大学、豊島区の各区民ひろばに掲示
- ・オレンジリボン 500 個とオリジナル啓発パンフレットを豊島区区民ひろばに配布
- ・社会福祉学科の公式ブログを用いて情報を発信
- ・実施後に学生の感想を学科ブログに掲載

②本年度新たに取り組んだこと

- ・「オレンジリボン運動推進隊・大正大学」という社会福祉学科の Twitter 公式アカウントを開設
- ・Twitter にオレンジリボン運動の活動報告、啓発ポスター&パンフレット、啓発漫画などの情報を投稿
- ・学内の一年生、二年生を対象にしたアンケートの作成・実施・分析・考察
- ・オリジナル啓発漫画の作成・配信・掲示
- ・児童虐待に関連した書籍コーナーの設置、書籍紹介用 POP の作成
- ・1 年生へ啓発講義の実施
- ・電話・FAX やメールなどの連絡方法を用いて、作成したポスター・パンフレット・オレンジリボン 600 個を学生の母校 12 校に送付

③オレンジリボン運動を終えて・・・

・私たちの活動においては、オリジナルポスター・パンフレットの作成でわかりやすい表現やふりがなをふるなど様々な工夫を行い、虐待の被害を受けやすい子どもでも理解できるようにしたことで、より子どもに繋げるということができたのではないかと考えます。今年度は、オンラインという状況にもかかわらず、多くのご協力のもと様々な活動を実施することができ、報告会にも参加することができました。このことに感謝し、今後も繋ぎ続けていけるように、活動の幅を広げ、さらなる啓発活動を行っていききたいと思います。

・オレンジリボン運動オンライン報告会を通してたくさんの協力があったからこそ多くの新しい活動を行うことができたのではないかと感じました。また、オンライン報告会で他大学の発表を聞き、都心ではない地方の大学であったからこそできたコロナ禍での人を集めての縁日の活動や、エコバッグ作りなど、全国でそれぞれの地域に合わせたオレンジリボン運動が行われていたことに感動しました。今回参加させていただいたことで、たくさんの学びを得て、とても良い経験になりました。

・今回の活動で私はさまざまな学びを得ることができました。特にコロナ禍におけるオンライン上の活動では、アンケートの作成や、今までつながりがなかった小中高校との関係を形作ることができ、制限された状況であってもできることがあるということに気がつくことができました。そして、今年の活動の中で一番大きな意義があった点として、虐待の当事者になりやすい小学生がいる小学校との繋がりを作ることができたことです。また活動を通して、自分が少しでも成長したという実感を得ることができた点にも大きな意義を見出すことができ、自分にとって本当に良い時間を過ごすことができたと感じました。

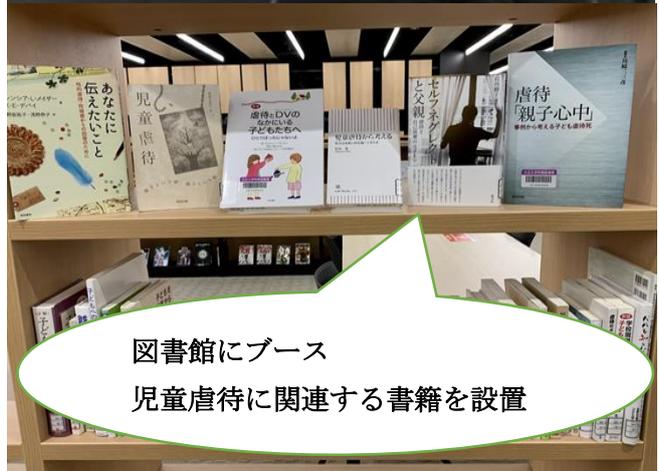
写真



「オレンジリボン運動推進隊・大正大学」というアカウント名に私たちの意気込みが込められている



感染防止のため
アクリル板をはさみ作業



図書館にブース
児童虐待に関連する書籍を設置



図書館にオリジナル漫画も掲示

【学校名】 <http://www.teikyo.ac.jp>